

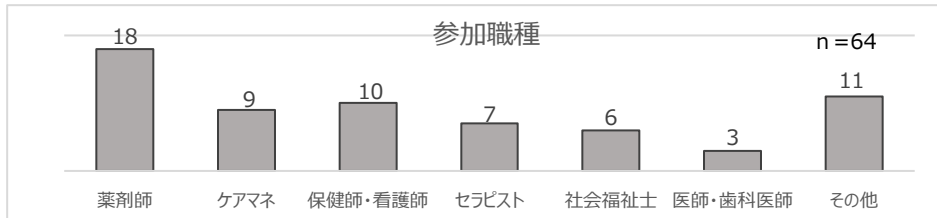
多職種研修会まとめ

実施日：H30.7.30 19：30～21：00

場 所：益田地域医療センター医師会病院 第一会議室

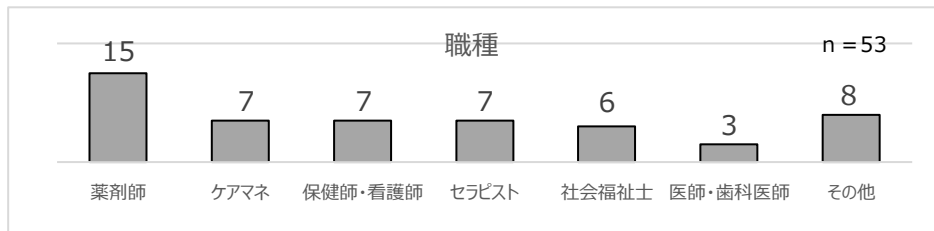
講 師：松本医院 松本 祐二先生

参加者：64名



《アンケート集計結果》回収率：82.8%（53名）

(1) 職種



(2) 研修内容



(3) 研修を通じての学び

1. MCSの特徴もなんとなくわかってきた。(2人)
2. MCSの良さ、利便性、よくわかった、活用できるように慣れていきたい。
3. メールに慣れた現代で遣いやすいと思う。
4. 時間を効率的に使いながら、ネットワークを広げていく素晴らしいシステムと思った。
5. 在宅医療にMCSを活用することでコミュニケーションがより即時的に円滑になることを学んだ。
6. セキュリティが高い上での情報共有ツールはとてもよいと思う。使用するに当たっては、共通のルールを周知して安全に使用できれば良いと思う。
7. セキュリティーに注意が必要。
8. 個人情報の取り扱いはデリケートですが、このような信頼度の高いツールの活用により良い医療が実現できると感じた。
9. 手軽に情報共有が出来るため、MCSは便利。(2人)
10. タイムリーな情報共有には必要なツールだと思った。
11. 凄く楽で良いと思う。
12. 使っていきたい。
13. 使ってみないとわからないと感じた。
14. 登録はしていたが実際に使ったことはなかった。急ぎではない用件や緊急時の用件など使い分けながら使用してみようと思った。
15. 各情報の特性を使い分ける必要がある。
16. 紙ベースの“生活療養ノート”の活用推進も必要かもしれない。
17. MCSを今まで使用していたが、新しく知ることもありよかった

18. 実際のMCSの使い方を知ることが出来よかった。
19. 積極的に連携を図りたい。
20. 活用するにしてもかかりつけ医のチームに招待してもらわなければ困難、かかりつけ医に活用して欲しい。
21. 連携のためのツールは様々あると思う。今日のICTの活用も旬な話題であり、連携を深めるための考察につながったと思う。
22. 職場のタブレットやPCでの活用が出来れば可能だと思った。
23. 医師会病院の職員として、MCSへの個人端末へ登録は可能なのか？職場の端末のみなのか？

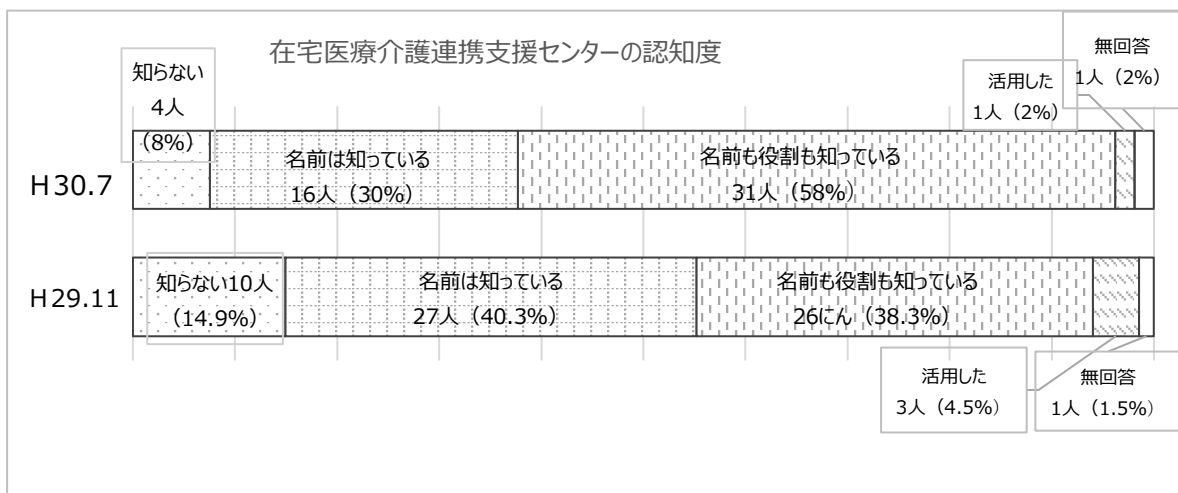
(4) 医療と介護の連携において困っていること

1. 連絡を取りたいときになかなかうまく情報が伝わらない、伝えられないことがある。
2. タイムリーに情報共有が出来ないため困っている。
3. 多職種の連携の取りつらさは、まだあると思う。
4. 訪問看護との連携をもっと図りたい。
5. 主治医との連携を如何したらよいのか。
6. 市内のMSWに言われたのが「指導報告書などの書式を統一して欲しい」とのことだった。すでにあれば教えて欲しいが・・・
7. それぞれの場面がわからないことが多く、連携をとった後のことが気になる。
8. 薬局側からの連携の具体例がわからない。
9. 文書のみでは伝わらない部分があると思う。(情報提供において)
10. 在宅で、面倒くさい連携に時間がかかる。
11. 医師のMCS参加を期待したい。
12. どちらの主治医先生がMCSを活用しているかわかると嬉しい。

(5) 本日の研修会のご意見や今後取り上げて欲しいテーマや取り組み

1. 訪問看護師、ヘルパーなどの介護支援専門員などのできるサービスの内容、単位(お金)について、デイサービス、ショートステイで行うサービスの内容、単位についてなどを教えて欲しい。
2. 大変勉強になった。
3. 岡山県真備地区のような水害が発生したら、この地域の高齢者障害者も同じような心配があると思う。速やかに、安全安心な場所へ逃げてもらうためには・・・？普通の学校にとかに逃げるとかトイレが難しいなどの問題が??
4. 本日のような情報共有について行って欲しい。
5. ターミナルの方、難病の方、寝たきりの方などの連携が必要と思われる方についてのみ活用したい。有効活用ですね。広がっていかないと意味がないと思うのですが・・・課題でしょう
6. 実践講習会を何度か試みて欲しい。

(6) 在宅医療・介護連携支援センターの認知度



研修会風景

